




vRealize Operations Manager バージョン 1.0 用 OpenManage Management Pack のインストールガイド



メモ、注意、警告

-  **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。
-  **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

著作権 © 2017 すべての著作権は Dell Inc. またはその子会社にあります。Dell、EMC、およびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

2017 - 02

Rev. A00

目次

1 はじめに	4
要件.....	4
2 OMIVV の設定	5
3 vRealize Operations Manager 用 OpenManage Management Pack のインストール	6
OMIVV インスタンスの追加	6
OMIVV インスタンスの削除.....	7
4 トラブルシューティング	9

はじめに

vRealize Operations Manager 用 Openmanage Management Pack があれば、VMware vCenter 用 OpenManage Integration (OMIVV) の 4.0 以降が管理する Dell PowerEdge サーバーとシャーシの正常性を監視し重要なメトリクスを分析することができます。

要件

以下は、vRealize Operations Manager 用の OpenManage Management Pack をインストールするための要件です。

- OpenManage Management Pack をインストールする前に VMware vRealize Operations Manager (vROPS) のバージョン 6.3 以降をインストールします。
- vRealize Operations Manager 用の OpenManage Management Pack には、OMIVV のバージョン 4.0 以降が必要です。
- Dell ホストを管理するための OMIVV ライセンスを持っていることを確認します。OMIVV ライセンスについては、*OpenManage Integration for VMware vCenter Quick Installation Guide for vSphere Web Client* を参照してください。
- 500 以上のサーバを管理している場合は、vROPS 設定を [大] に設定します。
- ホストは、Dell Management Pack を使用して管理するため、Dell OMIVV の接続プロファイルの一部である必要があります。
- デルは、サーバの正確な管理と監視のため、iDRAC の 2.40.40.40 以降のファームウェアバージョンを使用することをお勧めします。

OMIVV の設定

vROPS を設定するには、拡張モニタリングのサポートを有効にする必要があります。

拡張モニタリングのサポートを有効にするには、次の手順を実行します。

1. OMIVV 管理コンソールを起動するには、ウェブブラウザを起動し、**https:\\<Appliance IP> または <Appliance Hostname>** を入力します。
2. パスワードを **ログイン** フィールドに入力します。
3. 左ペインで、**APPLIANCE MANAGEMENT (アプライアンス管理)** をクリックして、**EXTENDED MONITORING (拡張モニタリング)** セクションまでスクロールダウンします。
4. **拡張モニタリング** セクションで、**編集** をクリックし、次に **有効** または **無効** をクリックして拡張モニタリングのサポートを有効または無効にします。拡張モニタリングのサポートはデフォルトで無効に設定されています。

vRealize Operations Manager 用 OpenManage Management Pack のインストール

vRealize Operations Manager 用 OpenManage Management Pack をインストールするには、次の手順を実行します。

1. [Dell.com/Support/Home](https://dell.com/support/home) に移動します。
2. **製品の表示** セクションで、**ソフトウェアとセキュリティ** をクリックします。
3. **ソフトウェアとセキュリティ** グループボックスで、**仮想化のセキュリティ** をクリックします。
4. ドキュメントを表示するには、必要な製品バージョンをクリックします。
Product Support (製品サポート) ページが表示されます。
5. リリースノートと Dell OpenManage Management Pack .pak ファイルで構成される自己解凍型 .exe ファイルを Dell サポートサイトからダウンロードします。
6. 一時的な場所に保存されている .exe ファイルを取り出します。
7. **vRealize Operations Manager** コンソールを <https://<IP または Hostname または FQDN>> として開きます。
8. **vRealize Operations Manager** の左ペインで、**管理→ソリューション** をクリックします。
9. **ソリューション** タブで、**+** をクリックします。
Add Solution (ソリューションの追加) ページが表示されます。
10. .pak ファイルの場所に移動するには、**Browse (参照)** をクリックします。
11. **OpenManageAdapter** .pak ファイルを選択します。
12. **アップロード** をクリックします。
13. 続行するには、**Next (次へ)** をクリックします。
Dell エンドユーザーライセンス契約 (EULA) が表示されます。
14. **契約条件に同意する** を選択し、**Next (次へ)** をクリックします。
15. **終了** をクリックします。
これで **vRealize Operations Manager 用 OpenManage Management Pack** が **vRealize Operations Manager** の **ソリューション** タブに一覧表示されます。

OMIVV インスタンスの追加

ホスト名、または FQDN あるいは IP アドレスのいずれかと OMIVV と vROPS の適切なログイン資格情報を入力して、アダプタインスタンスを追加していることを確認します。

アダプタインスタンスを追加するには、次の手順を実行します。

1. ブラウザで、**vRealize Operations Manager** ユーザーインターフェイスを起動します。
2. 管理者としてログインします。
3. **管理→ソリューション** をクリックします。
ソリューションの管理画面が表示されます。
4. **Dell OpenManage Management Pack for vRealize Operations Manager** を選択して、**設定** をクリックします。
5. **ソリューションの管理 - Dell OpenManage vRealize Operations Management Pack** 画面で、次の手順を実行します。
 - a. インスタンス設定 :

1. **説明** フィールドに説明を入力します。
- b. **基本設定** :
 1. ホスト名、または OMIVV インスタンスの FQDN、あるいは IP アドレスを入力します。
 2. ログイン資格情報を追加するには、**+** をクリックします。
 3. OMIVV で認証するための適切な管理者（デフォルトユーザー名）の資格情報を入力し、vROPS で認証するための管理者権限を持っていることを確認します。
 4. **OK** をクリックします。
 5. 入力した設定を検証するには、**テスト接続** をクリックします。

 **メモ:**

拡張モニタリングが有効になっているか確認します。有効でない場合は、**Unable to establish a valid connection to the target system.Extended Monitoring is disabled.Enable Extended Monitoring in OMIVV admin portal (ターゲットシステムへの有効な接続を確立できません。拡張モニタリングは無効です。OMIVV 管理者ポータルで拡張モニタリングを有効にしてください)** というエラーメッセージが表示されます。詳細については、「[OMIVV による設定](#)」を参照してください。

c. **詳細設定** :

1. **詳細設定** を展開し、リストから collector を選択します。
2. デルは、値を **True** として設定し自動検出を使用することをお勧めします。
3. **設定の保存** をクリックします。
4. **閉じる** をクリックします。

vRealize Operations Manager 用 Dell Openmanage Management Pack が OMIVV サーバインスタンスからデータの収集を開始します。

 **メモ:**

OMIVV インスタンスを追加すると、サーバとシャーシ用のデータとアラートが 3 回のデータ収集サイクル後に投入されます。デフォルトではデータ収集サイクルは 5 分ごとに実行されます。

 **メモ:**

物理サーバと ESXi ホストの関係構築するためには、vROPS の資格情報が必要です。

 **メモ:**

vROPS の無効な資格情報を入力すると、**Unable to establish a valid connection to the target system.Check that vROPS credentials are correct or not (ターゲットシステムへの有効な接続を確立できません。vROPS 資格情報が正しいか確認してください)** というエラーメッセージが表示されます。

6. **ホームページ** に移動して、**ダッシュボードリスト**のドロップダウンメニューから **Dell OpenManage のダッシュボード** を選択します。

Dell OpenManage のダッシュボードが表示されます。

 **メモ:**

OMIVV の IP が変更されている場合は、**ソリューションの管理** ウィザードで IP をアップデートします。

 **メモ:**

既存の OMIVV インスタンスを別の OMIVV と交換する場合は、既存の OMIVV インスタンスを削除して新しい OMIVV インスタンスで設定します。

OMIVV インスタンスの削除

1. ブラウザで、**vRealize Operations Manager** ユーザーインターフェイスを開きます。
2. 管理者としてログインします。
3. **管理**→**ソリューション** をクリックします。
ソリューションの**管理画面**が表示されます。



4. **Management Pack ソリューション** をクリックします。
5. **Dell OpenManage vRealize Operations Management Pack** を選択し、**設定** をクリックします。
アダプタインスタンスのリストが表示されます。
6. 必要なインスタンスを選択し、**削除** をクリックします。



メモ:

インスタンスの削除後に OMIVV で拡張モニタリングを無効にできます。

トラブルシューティング

- インベントリの初回実行時に、ファームウェアのメトリクスは収集されません。ファームウェアのメトリクスは、インベントリの 2 回目のサイクルから利用できます。
- アダプタの初回インストール中に、すべての Dell 作成カスタムアイコンが関連付けられるわけではありません。再ログインした後に、アイコンは関連付けられます。
- OMIVV の設定されたインスタンスを削除すると、インベントリビューにサーバおよびシャーシの古いインスタンスが不明の状態のままで一覧表示される場合は、そのようなコンポーネントをインベントリエクスプローラのページから削除します。
- OMIVV インスタンスでアダプタを設定し、それを削除してもう一度設定しなおすと、ダッシュボードのウィジェットがロードされない場合があります。データを投入するには、ウィジェットを再設定します。
- シャーシコンポーネントの正常および異常ステータスを報告します。コンポーネントの異常なステータスは、すべて Critical (重大) として報告されます。